

報道機関各位

タジキスタン共和国水道関係省庁 副大臣が 北九州市を“初”訪問します！

- タジキスタン共和国では、水源が豊富であるものの、給水施設の老朽化や各戸への給水率が低く、間欠給水(3 時間/日)などの課題を抱えています。
- こうした中、JICA 無償資金協力事業が開始され、北九州市と連携関係にある株式会社北九州ウォーターサービスと北九州市海外水ビジネス推進協議会会員企業が同事業に令和5年から参画しています。
- 今回、タジキスタン共和国政府住宅サービス委員会副大臣が JICA 無償資金協力事業で訪日するのに合わせ、北九州市を訪問し、副市長を表敬訪問します。

表敬の概要

- ・日 時 令和 7 年 5 月 9 日(金)9 時 30 分から 10 時00分まで
- ・場 所 北九州市役所 5 階 特別応接室
- ・訪問者 タジキスタン共和国
政府住宅サービス委員会 ラスルゾダ・ラジャバリ・アブズサイド 副大臣
住宅サービス公社 カリモフ・パルビズ・ナシムジョノヴィッチ 総裁
- ・内 容 江口副市長との面会、意見交換等
- ・取材留意点 面会後のインタビュー等(ぶら下がり)をご希望の場合は、インタビュー者の調整等を行う必要があるため、5月8日(木)12時までに下記問合せ先までご連絡ください。

【写真 タジキスタン共和国の水事情】



(左:女性と子供の水汲み労働の様子と喉を潤す少女、中央:水路の水を飲む老人、右:汚染水路際の公共水栓で家事をする女性たち)

【問合せ先】 (表敬・取材のご連絡について)

上下水道局海外事業課

担当: 矢山 (ややま)、廣渡 (ひろわたり)、村里 (むらさと)

電話: 093-582-3111

(プロジェクト全体について)

北九州市海外水ビジネス推進協議会

担当: 竹田 (たけだ)、林 (はやし)

電話: 093-581-2166

【参考資料】

タジキスタン共和国の概要

1 地勢

タジキスタン共和国は、中央アジアに位置する内陸国であり、南をアフガニスタン、東を中華人民共和国と接している。国土の約 90%が山岳地帯で構成され、平均標高は 3,000m を越えている。特に国内東部のパミール高原は世界の屋根と言われ、標高は 7,000m を超える山脈が存する。また、アムダリヤ川など多くの河川からの水源が豊富であり、水力発電による電力も豊富である。気候は大陸性気候で夏は乾燥して暑く、山岳部では非常に寒く積雪が多い。

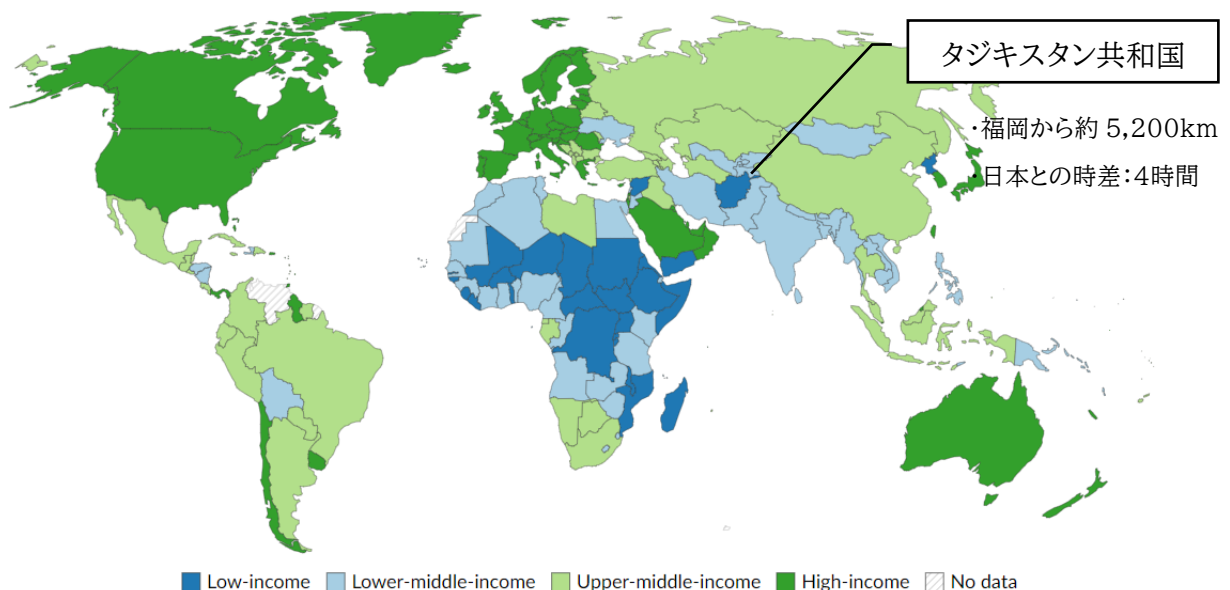


図 世界銀行による所得国分類(出展:世界銀行)

2 基礎データ

- ・面積 約 14 万 2,600 平方キロメートル(日本の約 40%)(出典:UN data)
- ・人口 1,030 万人(2024 年)(出典:国連人口基金)
- ・首都 ドウシャンベ
- ・言語 公用語はタジク語。ロシア語も広く使われている。
- ・宗教 イスラム教スンニ派が最も優勢。

3 水道普及の概況

2021 年のタジキスタン共和国における安全な水の配水の割合(配水管路から各戸に給水している割合)は55.29%である。(出展:世界保健機構)